

## 第6回 茨城フットケ抄録 (2012.02.13)

### ●一般演題

「 関節リウマチ患者の足部変形に対するフットケアの実践～理学療法士の視点からの関わり～」  
筑波学園病院 (理学療法士) 下村 哲志 先生

関節リウマチに伴う足部変形は活動制限の一因であり、フットケアは生活機能の向上において重要となる。今回は理学療法士の視点からインソールを用いたアライメント調整・除痛・変形予防への関わりについて報告する。

「 白癬菌感染症から潰瘍形成に至った患者との関わり 」  
川井クリニック (看護師) 田辺 友紀 先生

当院における、足病変予防のためのスクリーニング検査とスタッフ間の連携を報告するとともに、白癬菌感染症から潰瘍形成に至った患者の関わりについて症例報告をする。

「 当ステーションでのフットケアの現状と今後の課題 」  
みらい訪問看護ステーション (看護師) 大島 晴美 先生

当ステーションは、訪問看護認定看護師、糖尿病療養指導士、フットケアセラピストが、フットケアを積極的にしている。しかし、在宅で療養者の足のトラブルが多く、在宅支援者への教育の必要性を感じている。

「 爪トラブルの予防について 」  
トータルフットソリューション SaLaRa (看護師) 入夏 志保 先生

爪トラブルの予防は、もっとも身近なフットケアの一つです。正しい知識を持って爪のお手入れ方法を周知することで、爪のトラブル予防のみならず、様々な足病変の早期発見につながります。

### ●特別講演

『 フットケアにおけるチーム医療の実際 』  
川崎市立川崎病院 (看護師) 加藤 理賀子 先生

チーム医療の一つとして看護師が行っている糖尿病専門外来のフットケアおよび、糖代謝内科初診時のフットチェックをご紹介します、糖尿病診療におけるチーム医療を考える。